

株式会社富士見技研

ヒトに健康上の被害を及ぼさず
「全ての錠剤」で使用可能な
インクジェット用可食顔料インク

所在地: 山梨県富士吉田市下吉田5771
代表者: 渡邊俊樹
資本金: 1,000万
社員数: 21人

受賞理由

- ◆従来から行っていた塗料開発技術のノウハウを活かして、インクジェットプリンターで、食害もなく印字できるという技術が素晴らしい。
- ◆医療業界をはじめ、食品業界への応用が期待できる。



可食性インクは、食品・医薬品ほか幅広く用いられている食用インクで、全て食用添加物の素材から構成されるインクです。インクジェット印刷は、食品・医薬品に接触せず印刷することが可能であり、印刷対象物を選ばず衛生的なことから注目されております。この印刷方法に関しては、可食性着色剤・水性溶媒および必要に応じて可食性樹脂からなるインクジェット印刷用インク組成物を用いますが、光照射による光分解や酸化等により変色や退色が起きる欠点があります。しかし弊社の、黒酸化鉄・三二酸化鉄などの可食顔料インクは、耐候性（変色・退色）に優れ、高い分散安定性があります。

可食顔料インクの特徴

耐候性（退色・変色）に優れている

食品衛生法で許可されている食品添加物の構成成分からなるインク

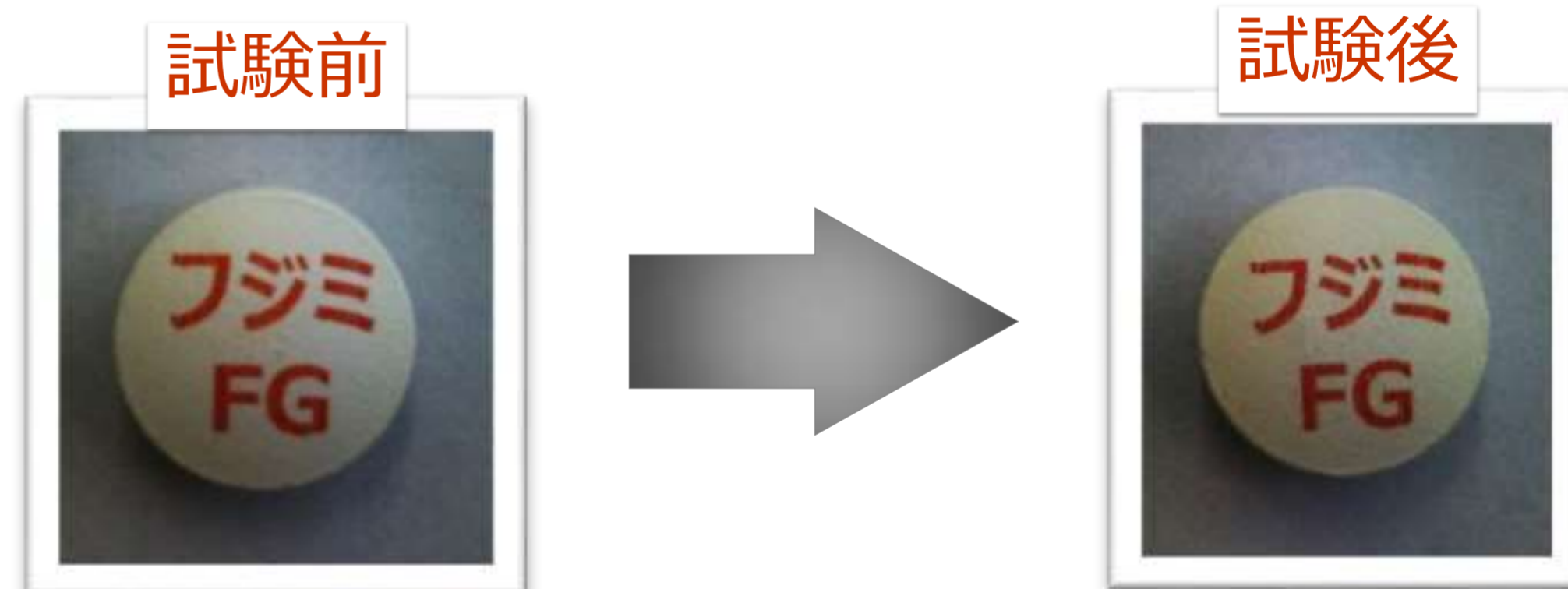
食品添加物製造業の許可工場で生産

長期間の高い分散安定性

インクジェットプリンターヘッドを目詰まりさせない

耐候性試験

日本ウェザリングテストセンター（銚子暴露試験場）にて耐候性試験を実施。（キセノンアークランプ式耐候性及び耐光性試験機、連続照射）



放射速度 40W/m² (波長範囲300~400nm)
B P 温度 63±3℃
槽内温度 40±3℃
相対湿度 75±5% R.H

これまでに開発した塗料・インク

飛散防止塗料



パナソニック電気株式会社様の照明グローブに採用されました。

紫外線遮蔽(UVカット)塗料



株式会社カワサキモータースジャパン様のNinja H2に採用されました。

インクジェット用可食インク



可食顔料インク、可食天然インク、可食合成インクがあります。